

【発行元】

鹿島建設・橋本店・阿部和工務店JV

県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事事務所

〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-8-8

TEL：022-253-7571



工事の進捗や現場の様子をわかりやすくお届けします



▲完成予想パース「南西外観」

● 工事概要

工事名 県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事

発注者 宮城県知事 村井嘉浩

工事場所 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-8-8

工期 令和7年7月1日～令和10年11月30日

※4週8休の対象工事（原則土日閉所）

建物の特徴 宮城県民会館と宮城県民間非営利活動プラザの機能を集約するもので、あらゆる表現に対応可能な多目的の大ホールや快適な鑑賞空間が備えられるなど、完成後には、県内の文化活動の中心的な役割を果たす重要な施設となります。

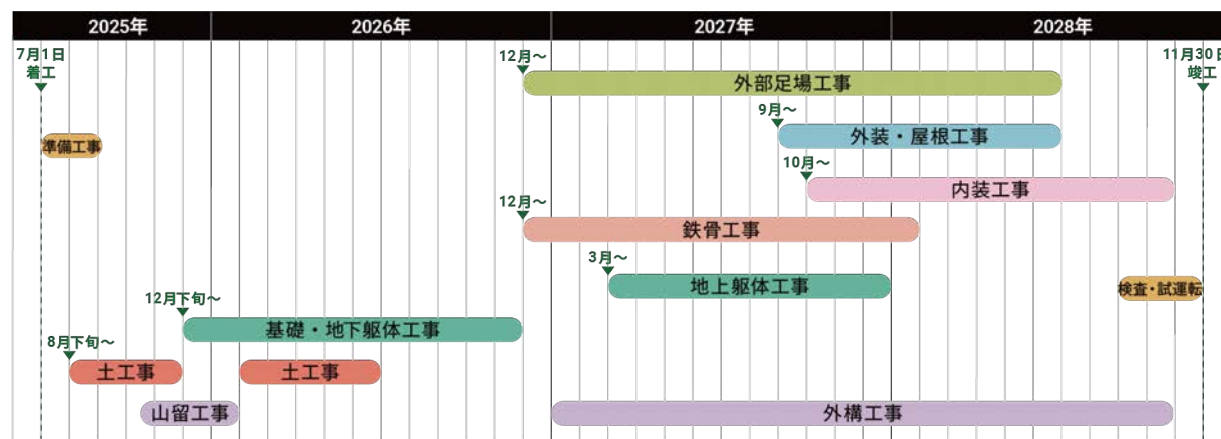


● 所員紹介

このたび『県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事』の所長を務めさせていただきます鹿島建設 平野 篤司と申します。新施設は、文化・芸術活動の拠点としてだけでなく、NPOや地域団体の活動を支援する場として、地域の活性化と県民サービスの向上に貢献することを目指しております。私たちは、この未来を築く施設づくりに全力を尽くしてまいります。完成後には、コンサートやイベント、地域交流の場として、皆さまに笑顔と感動をお届けするワクワクする空間が広がります。工事期間中は騒音や交通への影響など、ご不便をおかけすることもございますが、安全第一を基本に、近隣の皆さまへの配慮を徹底し、事故防止と環境保全に努めてまいります。地域に愛される施設をともに創り上げるため、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当工事の総合所長を務めます高橋 直裕と申します。私は宮城県大崎市の出身ですので、長い間親しんだ宮城県民会館の建て替え計画に従事できることは、大変光栄に感じております。今まで岩手県北上市、仙台市宮城野区、長野県上田市で3つの音楽ホールの建設に従事しましたが、今回その集大成として非常に難易度の高い宮城県民会館について監理技術者として、所長の平野をサポートしながら円滑な工事進捗に努めて参ります。音楽ホールの最初の演目を「こけら落とし」といいます。宮城県民の注目を集める、座席数2147席の大ホールで何が開演されるのか、私も宮城県民として楽しみにしています。長期間の工事となりますが、地元の皆様からのご意見も頂戴しながら、この大プロジェクトを完成すべく努力して参る所存ですので、何かとご迷惑お掛けすることが多々あると思いますが、ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

● 工程表



鹿島建設・橋本店・阿部和工務店
特定建設工事共同企業体

所長 平野 篤司



鹿島建設・橋本店・阿部和工務店
特定建設工事共同企業体

総合所長 高橋 直裕



現場NEWS

ゲート名が決定しました！

工事現場の4つのゲート名が決定しました。テーマは「四季」。宮城県を代表する風景やイベントをイメージし、春・夏・秋・冬それぞれ魅力を込めています。四季折々の宮城の魅力を感じるゲートで、皆さまに親しんでいただけることを願っています。今後とも安全第一で工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

▼冬の風物詩「光のページェント」



▼白石川堤の「一目千本桜」



冬 春
秋 夏



▲秋の深まる彩「鳴子峡の紅葉」

▲夏の賑わいを感じる「仙台七夕まつり」



▲実際のゲート設置状況（もみじゲート）

仮囲いのイメージアップに取り組んでいます！

工事中も街に彩りを添えるため、仮囲いにさまざまな工夫を施しています。

仮囲いの一部を透明にして中の様子が見えるようにしておりますので、工事をより身近に感じていただけます。南東の角には雪だるまを3体並べ、12月はイルミネーションで夜を明るく演出しました。さらに、デジタルサイネージで工事の進捗や完成イメージをお知らせしたり、完成予想パースを展示したりすることで、未来の姿を楽しんでいただけるようにしています。今後も季節のイベントごとに仮囲いに彩りを加えてまいりますので、ぜひお楽しみください。



仮囲いにデジタルサイネージを設置しています。工事の進捗や完成イメージ、週間作業予定や近隣の皆様へのお知らせなどを発信しております。タッチパネル式ですので、気になる項目をぜひタッチしてご覧ください。サイネージに映し出された完成イメージとともに、未来を想像しながら工事の進捗をご覧ください。



工事進捗状況のお知らせ

ちゅうじょうかいりょう

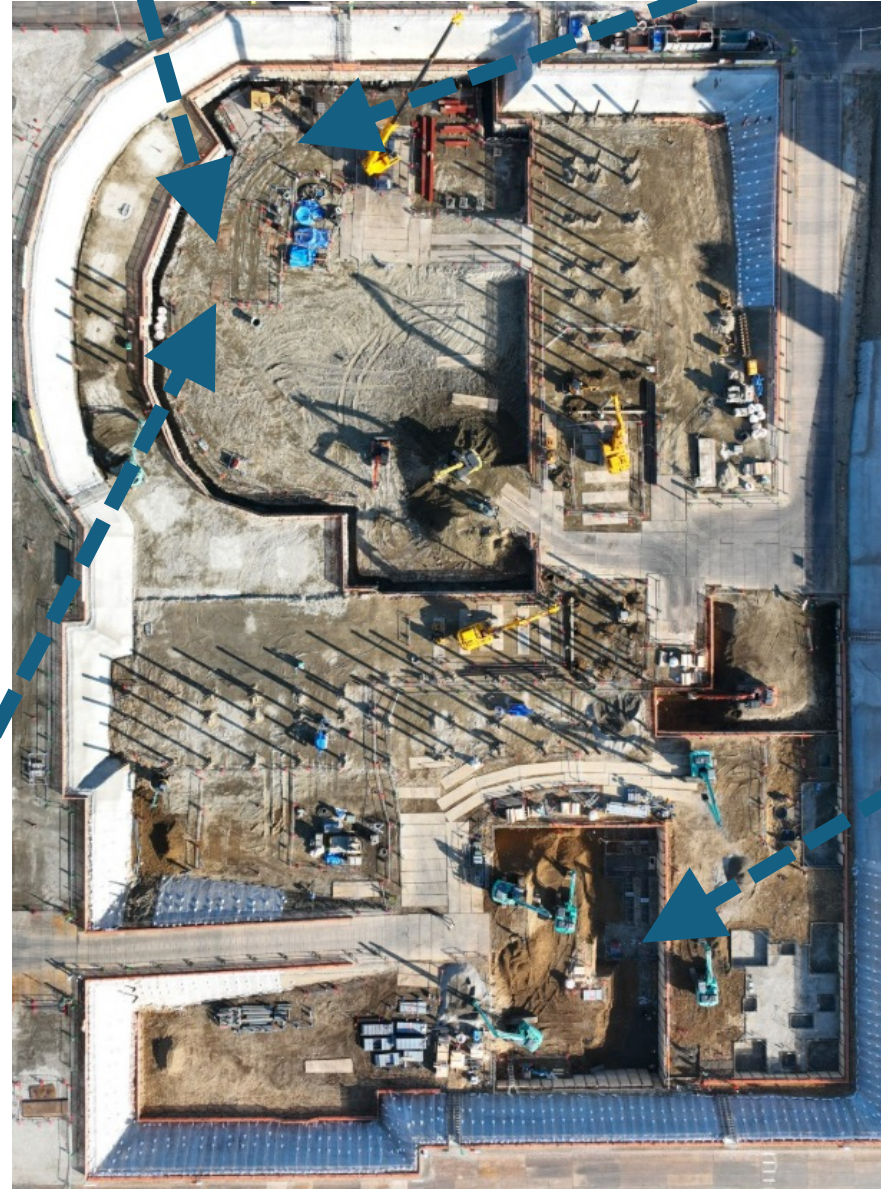
柱状改良が終了しました！

柱状改良とは、建物を支える地盤をより強くするために、地面の中に円柱状の固い地盤をつくる工法です。専用の機械で地面を掘りながら、セメントを地中で土と混ぜて固めることで、地下に固い柱を並べるようにして地盤を強化します。



2次掘削を開始しました！

建物の基礎をつくるための作業である、1次掘削が完了しました。建物をしっかり支えるためには、地面の中に頑丈な基礎をつくる必要があります。その準備として、必要な深さまで地面を大きく掘り下げる作業が1次掘削です。2次掘削は、1次掘削で大まかに地面を掘り下げたあと、基礎の形に合わせて、より細かく必要な部分を掘り下げる作業です。



やまどめくい

山留杭の打設を進めています！



約10mのH鋼を
地中深くまで打ち込みます！



周囲の土が崩れないようにするための山留杭の打設を行っています。山留杭とは、掘削する場所のまわりに打ち込む鉄の柱（H形鋼）のことです。この山留杭が“支えの柱”となり、掘削中に周囲の土が崩れないように守る役割を果たします。

よこやいた

横矢板を取り付けています！



横矢板とは、山留杭と山留杭のあいだに入れる木製の板のことです。木製の板を横向きに差し込むように設置します。掘削の進行に合わせて、下へ順番に板を追加していきます。この板が地面を押さえる“壁”の役割を果たし、掘削中に周囲の土が崩れないようにする大切な安全設備です。



今後の予定

アースアンカーと型枠で強固な基盤づくりが始まります！

これからは建物を支えるための土台工事を進めます。アースアンカー工法とは、深く掘った場所の「土の壁」が崩れないようにするための安全工法です。建物の基礎をつくるときなど、地面を深く掘ると、まわりの土が押し寄せて壁が倒れるおそれがあり、その崩れを防ぐための工法です。普段は見えない部分ですが、ここが安全のカギ。強固な基盤づくりで、安心できる未来を支えます。

▼アースアンカー打設状況



▼鋼製型枠施工状況



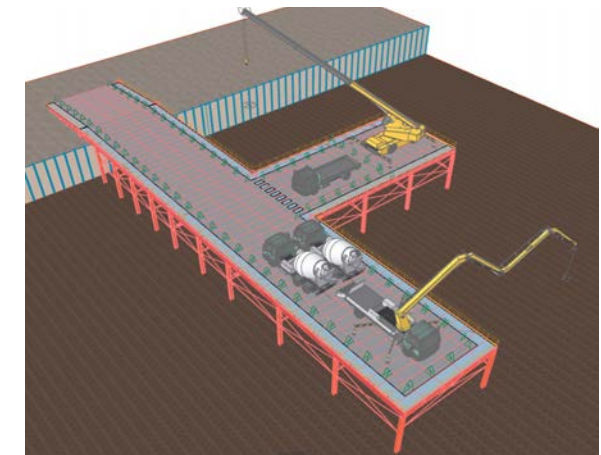
鋼製型枠とは、コンクリートの形をつくるための鉄でできた型（うつわ）です。土工事を行いながら鋼製型枠を据え付けるため、安全できれいに工事が進みます。

作業スペース確保のための構台こうだいを設置します！

基礎工事を安全に進めるため、現場内に「構台」という作業用の台を設置予定です。構台は、重機やトラックが安全に通行できるようにした仮設の床・通路のような設備です。掘削が深くなる現場でも、作業を安心して行えるようになるため、とても重要な役割があります。現在は構台を作るために、その土台となる杭を地面に打ち込んでいます。いま見えているのは柱のような杭だけで全体像が分かりづらいのですが、この杭の上に鉄骨を組み、広い足場のような作業床ができあがる予定です。



▲構台杭打設状況



▲構台イメージ図

お知らせ

県民会館・NPOプラザ複合施設新築工事に関するWEBサイトを公開しています。

▼ アクセスはこちらから

<https://www.miyagi-kenminkaikan-build.jp/>



編集後記

いつも工事へのご理解と温かいご協力をいただき、心より御礼申し上げます。寒い日が続きますが、安全に気を配りながら、丁寧に作業を進めております。工事に伴い、音や車両の通行などご不便をおかけすることもあるかと思いますが、できるだけ負担の少ない形で進められるよう努めてまいります。皆さまにとって、穏やかであたたかい一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。
(和)

